

◆ 主な研究課題・事業 ◆

課題 1 自給飼料生産における牛糞堆肥施用による肥料費低減および飼料中カリウム濃度低減技術の実証

飼料が高騰しており、以前より増して自給飼料生産の必要性が高まっています。また、化成肥料価格も肥料によっては 9 割上昇しており、自給飼料生産におけるコスト低減が急務であります。一方、畜産農家で生産される堆肥の連用により、自給飼料中のカリウム濃度が過剰となり低マグネシウム血症や低カルシウム血症の発生が懸念されています。そこで、自給飼料生産において、牛糞堆肥を投入して化成肥料を低減し生産費の抑制を図るとともに飼料中のカリウム濃度抑制技術を実証します。



牛糞堆肥の散布作業

課題 2 温暖化に対応した牧草の適応性調査



イタリアンライグラス生育調査

地球温暖化の進展を見据え、栽培期間の延長を考慮した栽培体系の検討を行うため、秋播きの作物（イタリアンライグラス、ライ麦）と夏播き作物（飼料用トウモロコシ）の二毛作栽培への適応性を調査し、より収量性の高い草種選定を行い新しい栽培体系を確立します。

課題 3 飼料作物優良品種選定調査

公的研究機関で育成された品種や市販品種である牧草（オーチャードグラス、イタリアンライグラス、チモシー）及び飼料用トウモロコシの生育状況や収量、病害虫の発生等を既存の県優良品種と比較調査を行い、本県の栽培環境下に適する品種の選定を行います。



プロットハーベスタによる収量調査

課題4 気候変動に対応した追播適性に優れたライグラス類の育成とそれらを利用した省力的な「草地メンテナンス技術」の確立

近年の気候変動に伴い、夏枯れや湿害による草地の早期荒廃が多く発生しているため、県内における追播に適した多年生ライグラス類の適応性を明らかにするとともに、多年生ライグラス類の追播実証を行い、省力的草地メンテナンス技術を確立します。



不耕起播種機を用いた経年草地における多年生ライグラス類(夏ごしペレ)の追播実証